晴美台タイガース ただいま総部員数55名！ みんな頑張ってます！

はるたい新聞・号外

15戦7勝6敗2分 これからだ！

9戦5勝4敗 練習あるのみ！

悩む！ 考える！ 福田監督！

実力はある！ しかし、問題点も！

今期初めてBチームを率いて、監督業に精を出すことになった福田監督。春からいっしょに戦う子供たちと、何やら怪しげな交換日記をするなど、従来の晴美にはない指導法でチームを鍛えあげている。元々参加する大会数が少なく、そのため年間を通しても二十試合あまりの試合数しかないBチームだが、夏を終えた時点での戦績は9戦5勝4敗、かろうじて勝ち数の方が上回ってはいるものの、これまで参加した4大会では2回戦敗退が3度、3回戦敗退が1度と、いまひとつ波に乗れず、上位に食い込めないでいる。また、勝ち試合の多くは大勝、負け試合の多くは1、2点差の惜敗というのも、気になるところ。格下の相手には余裕で勝てるものの、同じようなレベルのチーム相手には、善戦はするものの結局接戦をものに出来ず、敗戦しているということになる。

練習を見ている限りでは、今期のBチームの選手ひとりひとりの体力、技量は、Aチームの子供たちを上回っているだろう。ボール回しをする選手たちの送球の速さ等を見ても、強肩の子供たちが多いことがわかる。打つ方でも、腰の座った、いかにもどっしりとしたバッティングフォームをしている子供が多く、それゆえ打球の飛距離も十分にある。選手の素質なら、十二分にあるBチームなのだ。しかし、その反面、フォーメーションプレー、コンビネーションプレーなどチームプレーはお粗末だ。暴投をはじめ、ボールを丁寧に扱わないことによるエラーも多いし、一つエラーが出ると、その後、選手のみんなが動揺するのか、プレーがバラバラになってしまう。エラーやヒットでピンチになることは当たり前だが、そのピンチに踏みとどまることが出来るか、最小失点で切り抜けることが出来るかが勝負の分かれ目だ。これまでのBチームの得失点は52得点、28失点で得失点差だけを見てるともっと勝率が良くてもいいはずなのに、やはり、僅差の試合で、いかにピンチをしのぎきれていないかがわかる。打てないときには守りの固さがものを言う。Aチームは、ピンチをしのいで接戦をものにする。打力は水物なのだから、点がとれないのなら与えない、3塁に行かせてもホームは阻止する、ピンチに強いチームが勝負に勝つ。

日々、上手くなる子供たちが、たのもしく思えます！

福田監督同様、今期初めてCチームの監督となった小倉監督。まだまだ幼い子供たちを相手に、悪戦苦闘しながら練習に励んでいる。

Cチームは4年生以下のチームだが、参加する大会数はAチームに次いで多く、そのため年間試合数も二十試合を越える。4年生とは言え、それまで、「遊び」の域を出ない程度に野球をしていた子供たちを、真の野球選手へと導き、練習や試合に対する選手の心構えを変えないことには、Cチームの試合には勝つことができない。また、高学年になったときに強いチームにするためには、このCチームでの練習や経験が、大きくものを言うので、それを率いる小倉監督の責任は重いといわざるを得ない。とはいえ、厳しくしたからと言って、遊び気分の子供たちが急に真剣になってくれることなどないし、まだまだ言葉もまともに通じないことも多いのだから、気長にやってもらう他はない。小倉監督には、お気の毒だが、高学年を指導するのに比べて、非常に大変で見返りの少ない練習をこつこつとしてもらうほかはないのである。

これまで今期のCチームの戦績は15戦して7勝6敗2分け。春の初めの頃は、試合をしても四死球とエラー、でたらめな選手の動きでとても野球といえる代物ではなかったが、小さいとはいえ、さすがに晴美の子供たち、乾いたスポンジのような吸収力で、各選手ともみるみる上手くなってきた。

7月5日に行われた2試合の1戦目、VS桃山台戦では、それまで2戦してダブルスコアでの負けを喫していた桃山台に見事リベンジ、6−3で勝利し、2試合目のVS美原GJ戦では、体格も技量も格段に上の強豪チーム相手に、3−1で見事勝利した。この試合での、各選手の見事な活躍は、観戦していた蓑尾コーチが、興奮覚めやらぬのか感激のメールを私に送ってきてくれたほどだ。小倉監督は言う。

「日々に上手くなってくれる子供たちを見て、頼もしく思います。監督としてやってゆく自信などなかったのですが、何や子供たちに自信をもらいました。」小倉監督！ ガンバレ！

日々、うまくなる子供たちに、手ごたえあり！ 小倉監督！

おいしいもの食べて、次の日は試合なんで、最高に素晴らしい！

大変だけど、ほんとうに頑張らないと達成できないことだけど、Bチームのみんなら、できるさ！大いに期待しています！

野球指導者の紹介

福田監督、Bチームの子供たち、タイガースの悲願は、全国大会への出場だ。

来春までに鍛え上げて、春の堺の大会で4位に入賞し、府大会へとコマを進めて、そこでも4位に入賞して、ぜひ全国大会に出場してください。特急電車に乗って遠くへ行って、旅館に泊まって、改めて今期の野球指導者を紹介します。総監督は関田、温厚でやさしい人です。A監督は吉川、その体格からも推測できるように、温和で頼れる指導者です。まだまだ若い監督ですが、子供たちの信頼は絶大です。そんな若い監督を補佐するのが総合コーチの蓑尾、昨年A、Bチームを指揮して、Aチームに一本、Bチームに二本の優勝旗をもたらしました。加えてヘッドコーチの細井がベンチに入ります。また、ピッチングコーチを日浅が担当します。

B監督の福田は、役所に勤める生真面目な監督です。この監督を、若さと情熱の中元と、たたき上げマジ野球ウメェコンビの山下と宮前、そして他チームでもコーチの経験を持つ阪中の計4人のコーチが補佐します。

C監督は小倉、彼は少年時代にタイガースに在籍した選手で、いわばタイガースOB監督です。寡黙ですが、闘志溢れる柳井、床並の両コーチが小倉監督を補佐します。そして、専任ではありませんが、秋から始まる3年生以下の大会に向けて、直島、蓑尾の両コーチが、ちびっ子たちの指導に当たっています。

父コーチとして、迫田、田中、奥平、OBコーチとして小川、大西が指導に当たります。

総勢19名の指導陣ですが、これでも55名の部員の全てを安全にかつ効率的に指導するには全然たりません。野球指導部では、野球経験の有無を問わず、グランドへ足を運び、子供とともに練習をしてくださる父母を募集しています。どうぞ、みなさま、ご参加ください。

晴美祭りの御礼

夏の恒例イベントである晴美祭りが8月8，9の両日に開催され、例年通り、晴美台タイガースとして夜店を出店し、焼きそば、カレー、おでん、バザー等の販売をしました。二日目は大雨にたたられるなど、ご参加・ご協力いただいたみなさま大変なご苦労をおかけしたと思いますが、おかげ様をもって今年も盛会のうちに無事に終えることができました。ご参加・ご協力をいただきました、ご父兄、OB，関係者のみなさま、ほんとうにありがとうございました。心より御礼申し上げます。

Dコーチ：直島卓也　Cコーチ：床並淳一　Cコーチ：柳井清孝　Bコーチ：阪中　勝　Bコーチ：宮前武志　Bコーチ：山下哲雄　Bコーチ：中元清貴　PC：日浅篤志　HC：細井宏樹　GC：蓑尾貴司　総監督：関田末吉

子供たちのすばらしい活躍の様子は、毎週更新される「晴美台タイガース公式ホームページ」をごらんください。 http://www18.ocn.ne.jp/~harutai/（子供たちの試合や練習風景が見れる「はるみPHOTO」への隠しリンクもあります！）

B・Cチーム選手名鑑

4年生

床並俊佑　細井雅生亜（主）

阪中文哉　大西誠也　関元魁成　宮前公輔　東尾智皓　鎌谷穂高　内田大喜

北村祐生　小倉一輝　中本惟貴　福田将大　永田高之　福井宏志郎（主）

5年生

水谷亮太　松本陸玖　新谷峻輔　大同智也　奥平空将　直島広登　吉川真弘

3年生

宮前七菜　日浅彩夏　野中雄太　山本紘貴　池田健晋　東尾健太郎　柳井拓海　山中洋輝

★3年生以下のご父兄のみなさまへ……ちびっ子大会へのご協力のおねがい

晴美台タイガースでは例年、秋に開催される関西団地少年野球協会主催の3年生以下の大会に参加していますが、この大会の運営に関しては、そのほとんどが選手のご父兄の協力を得るものとなっています。今年も例年通り、タイガースはこの大会に参加する予定ですが、是非とも大会運営にご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

佐藤大海　山本紘悟　福井友菜　福井創太　日浅貴大　西川　徹　小倉鈴平

2・1年生

川端勇一　川崎雄貴　北浦稔季

子供といっしょにグランドで汗を流しませんか？ 子供とともに過ごす一日は楽しいですよ！ 野球ができなくても大丈夫！父・母コーチ募集中です！